

授業実践

(7) 第1時・第2時

(第1時)

《ALの視点》

主：主体的な学び

対：対話的な学び

深：深い学び

段階	学習活動	形態	A L	教師の支援と手立て	評価と方法
導入 8分	<p>1 ものを購入するときの視点を考える。</p> <p>衣服を買うときは、何を重視しているだろう？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートに記入する。 ・発表する。 	斉		<ul style="list-style-type: none"> ○ものを購入するときには意思決定が必要であることに気付かせた。 ○複数の視点があることに気付くことができるように、くま手チャートを用いた。 ○家庭生活アンケートの結果を示すことで、当事者意識を高めた。 <p><生徒から出た視点></p> <ul style="list-style-type: none"> ・デザイン ・値段 ・着心地 ・必要かどうか 	
	<p>2 本時の学習課題を知る。</p> <p>本時の学習課題 ものを選んで使う(消費)ことは社会や環境にどのような影響を与えているのだろう。ジーンズの購入場面から考えてみよう。</p>				
展開 40分	<p>3 5種類のジーンズの中から、購入したいものを選択し、理由を記入する。</p>	個	主	<ul style="list-style-type: none"> ○くま手チャートの中で出てきた視点についてランキングを付け、そのランキングを基に選べた。 	
	<p>4 グループ内で、選択したものと理由を伝えあった後、グループ全員で同じものを購入する場合、どれを選ぶかを考える。(情報収集)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習用PCや教科書、資料集等から情報を収集する。 <p>(情報の組み合わせ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各自で調べた内容をグループ内で伝える。 ・ジーンズを選ぶ際の視点を見直し、グループで購入したいジーンズを選ぶ。 	G	主 対	<ul style="list-style-type: none"> ○グループ内で各自が選択したものと理由を伝えることで、人それぞれものを選ぶ時の視点が変わることに気付くようにした。 ○足りない情報について、教科書やタブレットを使用して収集するように促した。 ○フィッシュボーン図を用いることで、ジーンズを選ぶ際に必要となる視点を整理しやすようにした。 <p>※生徒が調べた主な項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・素材 ・ブランド ・デザイン ・原産国(縫製) ・フェアトレード ・指定外繊維 <p>○選ぶ時の視点が広がるように、グループ全員の情報を組み合わせることを確認した。</p> <p>【技能】 (ワークシート)</p> <p>フィッシュボーン図で出てきた意見を多面的・多角的な見方に照らし合わせたものが図1になります。</p>	
まとめ 2分	<p>5 本時の学習の経過について確認する。</p> <p>6 次時の学習内容を確認する。</p>	斉		<p>※各グループが選んだジーンズとその理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ・普通の綿とオーガニックコットンの性質に違いはないので、実際に購入したことがあるBを選んだ。 ・フェアトレードで、オーガニックコットンは環境にいいのでDを選んだ。 ・日本製で安心でき、日本製の中で一番安いのでCを選んだ。 	

(第2時) 《ALの視点》 主: 主体的な学び 対: 対話的な学び 深: 深い学び

段階	学習活動	形態	A L	教師の支援と手立て	評価と方法
導入 3分	1 前時の学習内容を確認する。	斉		○再度、学習課題を示した。	
	課題 ものを選んで使う(消費)ことは社会や環境にどのような影響を与えているのだろう。ジーンズの購入場面から考えてみよう。				
展開 40分	2 各グループでまとめた意見を発表し、クラス全員で情報を共有する。	G 斉	対	○これまで出てこなかった視点があることに気付かせた。 教師用の学習用PCで各班のフィッシュボーン図を撮影し、電子黒板に投影しながら発表させた。	
	3 クラス内で出た購入の視点を確認する。	斉	深	○各グループから出た意見と前時で情報収集した内容について補足説明をしながら、ジーンズ購入の際の視点を整理させた。	
※クラス内で出た購入の視点についての補足説明 <ul style="list-style-type: none"> 綿 原料は綿花、吸湿性がよい オールニックコットン=有機栽培綿 認定規定がある リヨセル=レーヨン 再生繊維、肌ざわりが良い、濡れると縮む ポリエステル 合成繊維、原料は原油 吸湿性が小さい、しわになりにくい フェアトレード 開発途上国の人々との対等な関係と環境保護を目指し、適正な価格で取引を進めるもの 原産国 中国産は安い=人件費が安い ポリウレタン 合成繊維、伸縮性が高い 1%だけでもすごく伸びる 					
展開 40分	4 ジーンズの購入から見える社会と環境への影響を知る。 ・「パタゴニアデニム」と「ザ・トゥルー・コスト予告編」を視聴する。	斉	深	○自分たちの消費行動が、周囲の人や環境にまで影響していることが実感できるように、衣服の大量生産・大量廃棄が原因で起きた事故や、衣服の生産がエネルギーや環境汚染につながっている内容の動画を用いた。	持続可能な社会づくりを目指して、消費行動における課題を見いだし、その解決を目指して思考を深め、消費者市民として適切な意思決定ができる。 【思考・判断・表現】 (ワークシート)
	5 持続可能な社会とはどのような社会かを知る。	斉	深	○持続可能な社会とはどのような社会かを確認した。	
まとめ 7分	6 再度、5種類の中からジーンズを選び、理由を考える。	個	主	○ただ選ぶだけではなく、適切な意思決定のもとに選ぶことが大切であることを押さえた。 ○ものの背景まで含めて選ぶことが持続可能な社会づくりにつながることを伝えた。	
	7 本時のまとめをする。	斉		○各自の消費行動が社会や環境に影響を与えていることを確認した。	
	8 次時の学習内容を知る。			○持続可能な社会を目指して、環境負荷の少ない生活について考えることを伝えた。	

グループ活動やクラス全体で共有した意見を参考に、自分の考えと照らし合わせながら、再度ジーンズを選ばせた。最初の意見と変わった者、変わらなかった者がいたが、ほとんどの生徒が購入の際に考える視点をはっきりとさせて選ぶことができていた。

1本のジーンズが繊維から商品になり販売・着用され、捨てられるまで

- ▶車で125km走ったのと同じ量(32.3kg)のCO2
- ▶シャワーを53回(1回7分)浴びたのと同じ量(3,480.5ℓ)の水
- ▶プラズマテレビを318時間見続けたのと同じ量(400メガジュール)の電力



綿花は害虫に弱く、安定した収穫を得るためには多くの農薬や肥料が必要であり、環境に対する負担が比較的大きい作物

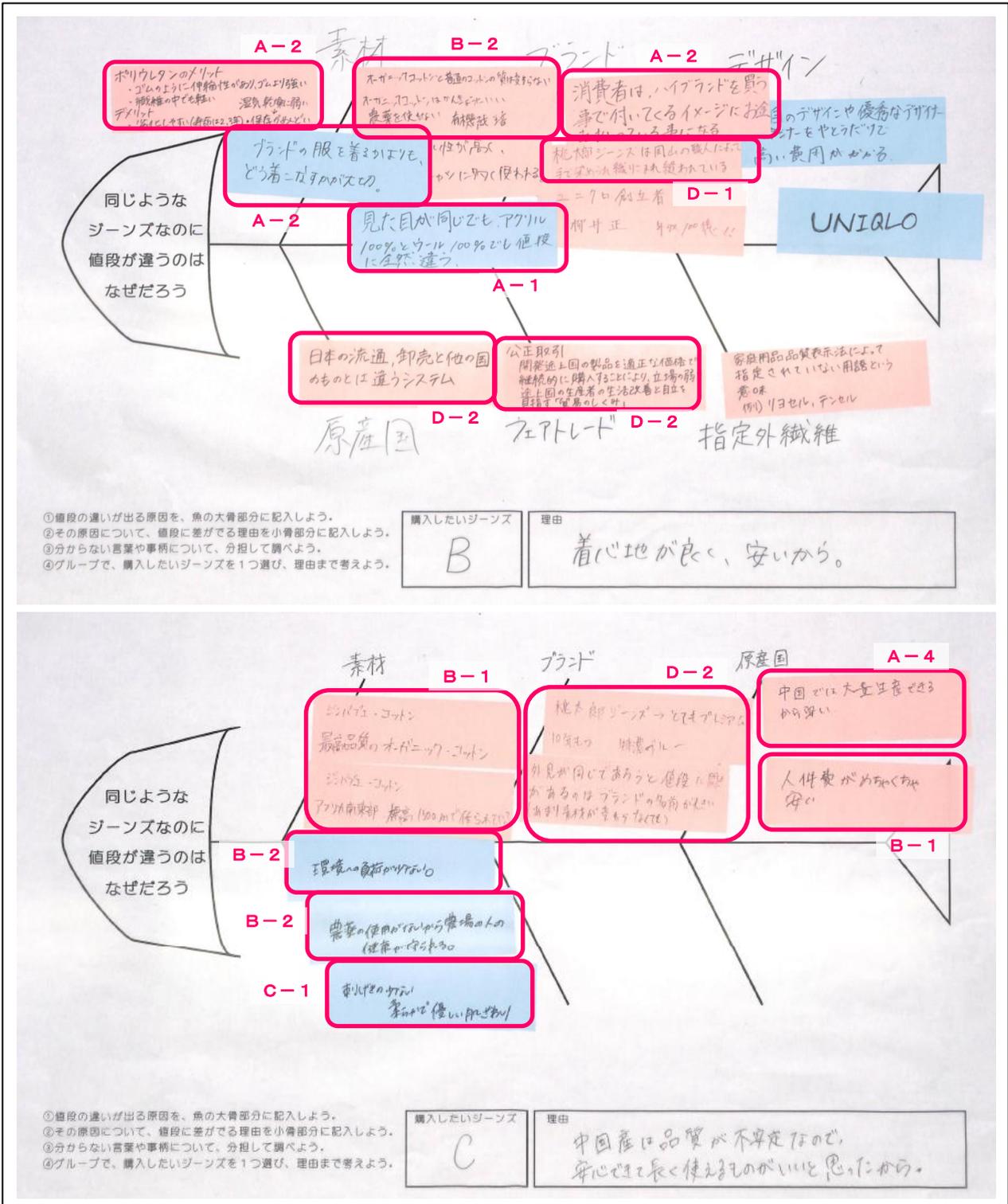


図1 授業で出てきた多面的・多角的な見方